

医療法人 札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック病院様 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社様

「LiveOn Wearable」で、遠隔医療支援と同時通話での手術配信!スムーズで安定した品質が、高度な手技を明確に伝達。若手医師の技術向上、社会貢献を実現



(写真:左)医療法人 札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック病院
循環器内科 部長/PADセンター長 原口 拓也 様
(写真:右)日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
PI事業部PV営業部チームリーダー 五十嵐 昌伸 様

利用目的	業 種	社員規模
遠隔現場支援 社員研修・研修配信	医療・福祉・製薬	100~500名

導入前の課題

- 4G回線でも、遅延や切断が発生し難い通信の安定性
- 従来比において、ブレたり、音声に対して遅れたりしない、スムーズな映像配信
- システムに関するユーザーからの質問・相談に対する、迅速なサポート

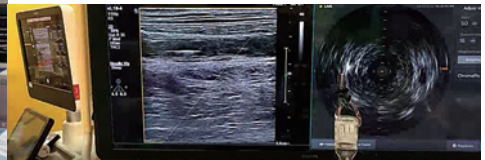
LiveOnで解決!

- 🔊 環境に関わらず安定して利用できる通信品質
- 📺 画像情報を受信して視聴する側のニーズに合わせて、映像の好きなポイントを、自由に拡大して見られるように
- 🔊 「LiveOn」の営業担当者が、マニュアルやSEに頼らず、疑問・相談へ迅速に回答

ご活用用途

手術をする手元を、医師の目線で映像配信

原口先生:学会や個別施設からの要望に即した内容で、私の手技を遠隔の医師らにお見せする「カテーテルライブ治療」をおこなっています。その際に利用しているのがウェアラブルカメラであるスマートグラスと、映像配信システム(遠隔作業支援システム)です。



五十嵐様:企業理念である「明日の医療を、あらゆる人々に」を目的として、高度な原口先生の技術を他医師・施設へ継承したいと考えています。スマートグラスなら、術者がどこを見て、どんな動きをしているのか、分かりやすくお伝えできます。当社では製品をより安全に、そして製品価値をより高める使い方をしていただける医師とパートナーシップを築きたいと考えています。原口先生とは長い付き合いがあるご縁から「LiveOn Wearable」を推薦しました。

導入前の課題

不安定で遅れる映像が、映像酔いや誤った理解をさせる懸念

五十嵐様:以前使っていた映像配信システムでは、通信の切断やハウリングが頻繁に発生。映像自体も滑らかさがなく、一時中断する場面も。特に、映像が音声より2~3秒と大幅に遅れるのは問題でした。「ここを見てください」と言っても、「ここ」といったタイミングに該当箇所が映っていないのでは、正しい情報が伝わりません。

LiveOn選定の決め手

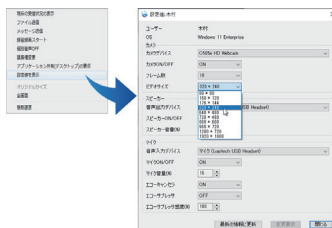
「通信」も「端末」も軽い!ストレスのない配信を実現

五十嵐様:以前のシステムが契約更新の時期を迎えたことから、当社の先輩社員に紹介された「LiveOn Wearable」のデモ機を、すぐに原口先生のところへ持ち込んでテスト。課題がすべてクリアしたため導入が決まりました。

原口先生:五十嵐さんからは、通信の即応性によって映像のタイムラグがなくなることに加え、ウェアラブルカメラもかなり軽量になること、バッテリー持ちが長くなることなどあらゆる面でアップデートするとお聞きし、すぐに入れ替えを希望しました。

懸念点もクリア、そしてサポート力を理解

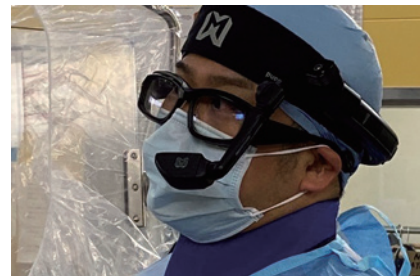
五十嵐様：実は、「LiveOn」システムの高い即応性による画面酔いを心配していました。しかし、フレームレートや画質を調整できるなど、その場の環境に応じて管理者側で臨機応変に設定を変更できる機能が搭載されていたので問題ありませんでした。また、導入後のサポートも気になっていましたが、「LiveOn」の営業担当者がマニュアルを見返したり、エンジニアに問い合わせたりせず、私の疑問に目の前で即答してくれたので安心だろうと考えました。



導入後の効果・感想

映像の见たい部分へフォーカスできる画面レイアウトの自由さ

五十嵐様：まずは手術映像を、ストレスなく配信・視聴していただけるようになりました。また、逆に原口先生が別の医師の手技をPC上で見られるようにもなりました。リアルタイムに相互会話をしながら、遠隔での指導やアドバイスができます。そして、大きな長所である画面構成や画角の調整機能で、見る側が配信映像の好きなポイントを、自由に拡大表示できるようになりました。例えば、原口先生が微細血管を穿刺する映像の手元部分をフォーカスできます。



運用シーンの手助けとなる、機能や仕様も大事

五十嵐様：ほかにも、運用上の利便性は大きな魅力です。配信のスケジュールリングやURLの事前通達などもシステム上で可能になりました。当社のある営業マンは、電源ONですぐに使えるセットアップの簡単さやスピードにも感心しています。

原口先生：使い勝手も大きく向上しました。ある先生もスマートグラスがすごく軽量くて使いやすいと言われます。首の筋力があまりない人でも疲れにくいのはいいですね。

LiveOnを活用した今後の事業展開など

きっと医療の、あらゆる現場で活用できる

原口先生：「LiveOn Wearable」を使って、まずは早々に海外への映像配信を実現したい。そして、遠隔からの指導を積極的にやっていきたいと思っています。いま医師不足もあって、若手医師が手術に立ち会える機会が減っています。そのため、遠隔指導で医師のレベルアップを図り、社会貢献にもつながればと考えています。

また、手術以外の用途もあると思います。例えば往診。患者の自宅から映像を配信すれば、医師が現場へ行かなくてもいい。あるいは看護学生に、現場看護師の施術を見せることができる。医療現場の、どこにでも活用できるのではないのでしょうか。

さらには医療以外の分野、そして将来への期待も

五十嵐様：医療以外にも活用できそうですね。例えば、美容師が技術を遠くの美容師に見せたり、実習に取り組む子供の視点をご両親が自宅から確認したり。「LiveOn Wearable」はきっと、いろいろな業種での活用へ発展していくのではないのでしょうか。

原口先生：我々現場の声をうまく聞いていただき、より良い製品やシステムを創ってくだされば、おのずと「LiveOn」やジャパンメディアシステムさんへの注目も集まるはず。一緒に社会貢献できるように、「LiveOn」の今後に引き続き期待しています。



所在地：札幌市東区北49条東16丁目
8番1号

開設：2008年
診療科目：循環器内科、心臓血管外科
ホームページ：https://scvc.jp/

24時間救急救命体制の、高度心臓血管治療専門施設。カテーテル室の治療機器、CTなどの検査機器など、最先端の医療設備を導入しているだけでなく、経験豊富な看護師や技師などが在籍。理念である「心を込めて」を診療の原点とし、常に自己研鑽に励みながら、患者を第一に考えたサービスの提供に努めている。



ジャパンメディアシステム株式会社

e-mail : liveon@jm-s.co.jp
URL : https://www.jm-s.co.jp/

本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10 第2電波ビル2F
TEL : 03-3252-8111 FAX : 03-3252-5234

大阪支店 〒540-6122 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21 MIDタワー22F
TEL : 06-6947-6800 FAX : 06-6947-6363

名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-16-20 グリーンビル4F
TEL : 052-202-1233 FAX : 052-202-1088

仙台営業所 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-5-28 カーニープレイス仙台駅前通6F
TEL : 022-726-5080 FAX : 022-726-5075

札幌営業所 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西12-4-78 ウエスト12ビル5F
TEL : 011-206-1818 FAX : 011-206-1572

